

財団法人 8020 推進財団

平成 21 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名：横浜市における歯科保健ニーズの調査と保健活動

2. 申請者名：社団法人横浜市歯科医師会 会長 藤井達士

3. 実施組織：社団法人横浜市歯科医師会・鶴見大学歯学部予防歯科学講座

4. 事業の概要：

横浜市歯科医師会では、すべての世代で、より豊かな暮らしを楽しむことができる社会を目指した活動を行っている。長寿社会を迎えるにあたり、国民のお口の健康に関するニーズも大きく変化してくることが予想され、横浜市民のニーズにこたえる地域歯科保健プログラムを推進していくためには、実態を把握することが必要になってきている。そのため、本調査は横浜市民を対象とした地域歯科保健ニーズを把握し、今後の横浜市歯科医師会における地域歯科保健プログラムを構築することを目的に行われた。

5. 事業の内容：

横浜市歯科医師会より、横浜市に依頼し、横浜市 18 区にて行われた母親教室に参加した妊産婦(472名)、乳幼児健康診査対象児の保護者(1歳6か月児：1,679名 3歳児：1,831名)を対象に質問票調査を行った。妊産婦・1歳6か月児・3歳児の保護者からの質問票を分析すると、妊産婦は歯科情報を得るために、インターネットや雑誌からの知識を得ている方が多く、1歳6か月児や3歳児になってくると、母親の友人・歯科医師・歯科衛生士からの情報を得るようになってきている。子供をむし歯にさせたくないという保護者もいれば、気にしていない保護者もいる現状である。このことは、妊産婦では歯科の情報が得にくい環境であることを意味しているのではないかと。

6. 実施後の評価：

今回は、妊産婦・1歳6か月児・3歳児の保護者を対象にした調査であるが、このような質問票による調査を実施し、ライフステージでの問題点を挙げ、それに対応できる指導等を立案することにより時代にあった指導等を行っていくことが可能になってくるのではないだろうか。今後も成人・高齢者についても調査を行っていきたいと考えている。